

登録番号 13 - 012

氏名 小野 千佐子

登録番号 16 - 009

氏名 下山 陽介

登録番号 登録番号 20 - 001

氏名 松下 祥貴

大阪市地域公共人材活動報告書

記

1. 派遣日時 令和4年3月8日（火）19:30 ～ 21:30
（第3回派遣）
2. 派遣場所 えほん picnic 実行委員会
3. 参加人数 16名（内訳：依頼団体12名、公共人材3名、大阪市市民局1名）
4. 開催方法 コロナ禍における対応として、オンライン（Zoom使用）にて実施
5. 活動内容

(1) 派遣内容

韮公園で開催している地域住民の交流イベント（えほん picnic）では平成30年に地域公共人材の協力によりイベント10周年に向けた中期目標を策定した。その後3年が経過し、メンバーは入れ替わり、10周年のイベントをやり終えることができたため、改めて中期目標の策定を支援していただきたい。メンバーと共にえほん picnic 目指すべき方向性を考えることで、認識を共有し、モチベーションにつなげていきたい。

(2) 支援内容

中期目標の策定にあたり、今年から3年後を目途に、えほん picnic で実施したいことなどを自由に意見交換を行った。その結果、「絵本」を中心に据え、子どもが主体となることや大学生や大人だけでも参加しやすい企画に加え、活動の広報にも注力していきたいことが共有できた。加えてITの活用、商標登録も引き続きの検討事項になった。

中期目標策定の具体的なキーワード抽出までは至らなかったが、実行委員の中から生まれる目標の言語化への気運は高まった。

(3) 今後の派遣計画

3月22日（火）

中期目標の策定、個人目標への落とし込み

所感

このイベントがこれほど継続し拡大しているのは、「絵本」という共有ツールの強さがあることを改めて認識した。今回は、実行委員のみなさんが、自分たちにぴったりの言葉で目標を策定できるように、発言の可視化に工夫したい。

所感

オンラインかつ大人数での場となり進行に苦慮した場面もあったが、メンバーにとっては改めて活動の根幹を確認出来る場となり、また、参加予定者にとってはどのような団体かを垣間

見れる機会となれたのではないかと感じている。次回の開催手法は定かではないが、オンラインであっても大人数であっても、皆さんが納得の出来る着地となれるよう工夫を行いたい。

所感

話し合いには見学の方々も参加しており、メンバーの皆さんにとってはとても良い機会になったのではないかと感じた。